

# おくたま 町議会だより



151号

平成 21 年 11 月 5 日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 第3回定例町議会

### 平成 20 年度

### 全 10 会計決算を認定

第3回定例会は、9月8日から9月18日までの、会期11日間にわたり開催され、議案14件が提案されました。

また、平成20年度の一般会計を始めとする各会計10件の決算は、定例会初日に提案され、延べ4日間に亘って行われた決算審査について、堀口泰宏代表監査委員による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く12名で構成する決算特別委員会を設置し、審査が付託されました。審査では、決算特別委員会の質疑にもあるように、様々な質疑、提言がなされました。その後、18日の本会議最終日

に、一般会計のみ反対と賛成の討論があり、採決の結果、全会計とも原案を認定することに決定しました。

### 監査委員決算審査意見報告

(町長への審査意見書を要約し掲載)

#### 一般会計

東京都支出金の確保、事業の計画的な執行等、評価すべき点は多々あり、行財政運営にも若干の柔軟性が出てきたとも感じられるが、依然として高い実質公債費比率と、財政力指数に見られる自主財源の乏しさ等、将来的にも憂慮すべき点は多々残されていると考えられる。

よって、自主財源を確保する努力が望まれるが住民負担を更に求めることは厳しいものと考えられ、今後とも都支出金の維持、あるいは増額に向けての努力が必要である。

都民の森管理運営事業特別会計

来園者数に改善が見られたのは、登山教室等を町内外にとらわれずに積極的に行った成果であり、今後も町が指定管理者として指定を受け、管理を行っていくということにも鑑み、経営努力により利用者の増加を図り、自主・自立の精神で運営することを希望する。

山のふるさと村管理運営事業特別会計

橋梁改修工事が完了したことに伴い、来園者数が大きく増加したことも要因だが、シーズンオフのケビン宿泊料金値下げ等により宿泊客が増加し、利用料収入が増額した点、及び昨年度に引き続き、職員間の良好な関係が保たれている点については評価できる。今後もより一層の円滑な施設運営を行われたい。

国民健康保険特別会計

保険税の収納率が前年度を下回った。特に現年分の収納率が

低下しており、健全で安定した事業の運営を図るため、また、加入者の公平負担の原則からも、未収金の解消におも一層努めるとともに、新たな未収金の発生抑止に最大限の努力を望む。

今後とも加入者の理解を得ながら、適正な保険税の確保に努めるとともに、一般会計からの繰入金をできるだけ抑制するような対策を講じることを望む。

#### 老人保健特別会計

本会計は、長寿医療制度が平成20年度からスタートしたことにより、19年度をもって実質終了した。決算上の問題は特にない。

#### 後期高齢者医療特別会計

保険料の未収金が発生しており、特に普通徴収の納付者について、改めて制度や保険料の仕組みを周知する等、収納率の向上に努められたい。

#### 介護保険特別会計

介護給付の件数と費用額が、ともに前年度と比べ増加していることから、健康教育や介護予防の強化を図り、元気な高齢者社会の実現に努力するとともに、制度改正や国、都の動向を注視し、制度の改善に向けた各種要望活動を積極的に進め、小規模町村の財政負担の軽減に積極的に取り組むよう希望する。

なお、介護給付準備基金保有額が5千万円を超えており、保険料改定時の柔軟な運用を望む。

#### 下水道事業特別会計

奥多摩処理区の整備工事は順調に推移し、浄化槽設置計画とも併せ、今後も効率的・効果的な事業を推進することを期待する。

#### 国民健康保険病院事業会計

一般会計からの補助金の増額は、経営の悪化が深刻であると受け止めざるをえない。21年度からは週2回の午後診療、第4土曜日の診療に取り組んでいる

このことであるが、PRが不足しているようにも感じられる。今後、更に患者数を増やす方法の模索並びに努力を続けられたい。

#### 水道事業会計

都営水道一元化が決定したところではあるが、今後とも経費の節減と安全な水の供給を続けられるよう努力されたい。

#### 基金

19年度に引き続き増加した。特に、取り崩すことなく積み立てを行うことができ、評価するものである。弾力的な財政運営を図るうえには、毎年極力増加させるように努めるべきであり、今後とも長期的な視野にたつて計画的、かつ、効率的な基金の運用を望むものである。

#### 総括・結び

平成21年度の情勢も踏まえ意見を述べる。

事務のフラット化により、職員数減に結びつけたことは大変

評価できる。ただし、事務の質を下げてはいけない。そのためには職員の資質の向上が絶対条件であり、外部研修はもとより、庁内職員の講師による研修、教育等を実施され、庁内の連帯感を醸成すべきと考える。また、臨時職員としての専門職の雇用も視野に入れるべきである。

本年度より始まる身近なまちづくり支援事業では、まちづくりひとづくり支援事業の実績を検証し、取り組み方、支援方法について検討すべきである。

町税の収納率は、前年度に比較し若干低下している。様々な厳しい現実はあるが、戸別訪問徴収はもとより、納税者に対する広報等を研究され、従来どおりの高い徴収率を維持し、更に引き上げる努力をされたい。

森林の恵工房峰の稼働率が著しく低下している。一時養鹿施設の運用、固体の搬出方法等を検証され、奥多摩の特産品としての今後のありかたを考える必要がある。

森林セラピー事業は、森林セ

ラピーアシスター、癒宿（ゆやど）の認定が行われ、受け入れ態勢も整った。アシスター、施設、町が協働して町の活性化を目指し、邁進してほしい。

都営水道一元化の願いが現実となったが、現町営水道においては、設備、取水条件等、一律の形態でない場所も存在する。諸々の要件を早急に整備し、すべての町営水道が都営水道に移管できるよう、一層の努力を願いたい。

以上、平成20年度の町の全ての会計の決算、及び事務事業の実績について、毎例月の出納検査、現場調査を含め審査を行った結果、適正に処理されていることを確認した。また、総論的には平成20年度で計画した事務事業は、ほぼ予定通り執行できたと考えられ、主要事業と新しい施策への取り組みに対する意欲を感じることができた。

## 決算特別委員会質疑

（各会計とも質疑を箇条書きで掲載）

### 一般会計

#### 歳入

- ・ 国民健康保険税等の未収金が増加しているが、理由と問題点、今後の対応は
- ・ 重複滞納者の原因の分析、対策は

- ・ 法人税、鉱産税、入湯税等の減額に際し、事業者の状況を国、都に伝えているか
- ・ 入湯税が減額しているが、その充当先は

- ・ 滞在型農園の使用料に関し、入居状況と利用者の意向は
- ・ 臨時財政対策債の使徒は等の質疑と提言がありました。

#### 歳出

- ・ 職員定数減により、住民サービスの下を招いていないか。臨時職員の配置と人数は
- ・ 公有財産として購入する、

海沢の土地の所在地は

- ・ 長期総合計画進捗状況調査、診断業務委託の結果は

バス路線維持対策事業の今後の見通しと、ワゴン車の運行計画は

身近なまちづくり支援事業の現状と見通しは

住民基本台帳カードの発行枚数と、どのような人が必要としているか

障害者自立支援事業費が補正予算で減額されている理由と、住民への影響は

保育所措置費が補正予算で減額されている理由と、子ども数の現状は

少子化対策事業費の助成対象人員と状況は

へき地専門医療確保事業費の眼科、耳鼻咽喉科検診の実績と、回数を増やす考えは

クリーンセンター最終処分場の現状と今後は

シカ被害対策人員輸送用ヘリコプター作業委託の内容は

シカ柵見回り管理委託と、警戒システム発信器装置業務

委託の内容は

・ 駆除したシカの搬出について調査、研究を

・ 奥多摩ヤマメの現状と今後の問題は

・ 山里歩き絵図納品月と無償配布に対する考え方は

・ 観光施設等整備基金の目的は

・ 花の里づくり事業の内容は

・ 大多摩観光連盟支援負担金の内容は

・ 栃久保分譲地の今後の対応は

・ 空家調査での実績と今後の対応は

・ 防災無線受信機の耐用年数は

・ 防火水槽の設置基準は

・ 児童、生徒の遠距離通学補助について、冬季は対象距離の短縮ができないか

・ 青少年対策地区委員会の現状と今後は

・ 森林館業務委託の内訳と入館者の状況は

・ 学校プールの水温が低い改善の余地はあるか

- ・ 文化財としての神社のぼり旗の調査の実施を
- ・ せせらぎの里美術館の展示物の研究を
- ・ 学校の統廃合の見通しと対応は
- ・ 旧小河内小・中学校の活用について、検討しているか
- ・ ワサビ田の災害復旧の状況と収獲の状況は
- ・ 公債費の今後の見通しは
- ・ 今後の大型事業の計画は
- ・ 事務報告書の訂正が多いが改善を
- 等の質疑と提言がありました。
- 都民の森管理運営事業特別会計
- ・ 東京都の予算編成時に、町の職員は協議に加わっているか
- ・ 有限会社さかい（とちより亭）の状況は
- との質疑がありました。
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計
- ・ AEDリース料の内容は
- ・ 天体観測施設について検討は行ったか
- との質疑がありました。
- 国民健康保険特別会計
- ・ 保険料の滞納が増額しているが、9月時点の収納率は
- ・ 資格証、短期保険証の発行状況は
- との質疑がありました。
- 老人保健特別会計
- 特に質疑はありませんでした。
- 後期高齢者医療特別会計
- 特に質疑はありませんでした。
- 介護保険特別会計
- ・ 保険料、利用料について調査、研究し、減免制度導入を
- ・ 現行の利用料引き下げを、さらに拡大する努力を
- との要望がありました。
- 下水道事業特別会計
- 特に質疑はありませんでした。
- 国民健康保険病院事業会計
- ・ 子育て中の家族のため、小児科を充実させることはできないか
- ・ 新型インフルエンザの情報、対応は
- との質疑がありました。
- 水道事業会計
- ・ 都営水道一元化の進行状況は
- ・ 都営水道と町営水道の料金の違いは
- との質疑がありました。
- 一般会計討論
- 反対 衆議院議員選挙の結果、歴史的な政権交代に至ったことは、構造改革、社会保障の削減等、長年にわたり国民が苦しめられてきたことが要因と考えられる。都政においても、大型事業を次々と執行し、特にオリンピック招致を口実に巨額開費を計画しており、税金を浪費しようとしていることは非常に大きな問題である。
- 町政としても厳しい財政状況となっているが、さらに町税等の滞納額が3千万円にも及び、滞納の理由は様々であると考えられるが、不況の波が住民へと押し寄せ、住民へのしわ寄せを反映した結果となっている。町政の活性化を目指すためには、施策や施設等の運営に問題点も多くあり、個々の分析を行い、指導や援助を強化することが求められている。少子高齢化問題にしても深刻な状況となっており、現在も進行を続けている。国政、都政の責任問題でもあり、国や都に向け様々な制度の創設や改正、財政の援助等を強く要求するべきである。また、町としても独自の対策を強化することが必要であることを強く要求し、反対討論とする。
- 賛成 平成20年度は政治の混乱、世界経済の低迷等による影響が当町にも及んでおり、観光客の減少等、経済にも暗い影を落している。そのような中で、町の行財政は前年度よりも財政

規模も大きくなり、機構改革や職員の減員等、内部努力による効率化が図られた効果が現れてきている。町長始め担当職員の努力で、都営水道の一元化、下水道の部分的な早期供用、森林セラピー事業等の実現に向けた努力は、真に評価すべきものと思う。

また、一般会計では、歳入で前年度比3・19%、1億7千600万円の伸びに対し、歳出で300万円の減と、健全な財政運営を行っていることが伺える。特に都支出金の1億2千万円の増額は、町長と関係者の努力の結果であると思う。なお、決算全般については、予算に基づき執行されており、評価すべきものと思われる。

今後、社会環境の変化や地方分権の推進に伴い、住民の行政に対する要望は、複雑多岐かつ増大するものと考えられるが、財源の確保に向け、今後も最善の努力を期待し、賛成討論とする。

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも可決又は同意しました。

#### 条 例 等

- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 介護保険地域支援事業利用者負担条例の一部を改正する条例
- 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

#### 補 正 予 算

- 一般会計（第2号）
- 都民の森管理運営事業特別会計（第2号）
- 山のふるさと村管理運営事業特別会計（第1号）

国民健康保険特別会計（第1号）

老人保健特別会計（第1号）

後期高齢者医療特別会計（第1号）

介護保険特別会計（第2号）

水道事業会計（第1号）

#### 指定管理者の指定

蕎麦懐石丹縄

有限会社滝島商店（平成22年4月から3年間）

#### 人 事

教育委員会委員

教育委員会委員、佐久間砂由

利氏の任期満了に伴い、次の方を任命することに同意しました。

・三富隆行氏（新任）

（海沢455番地）

外部監査契約に関する条例制定について

### 陳情の取り扱

採択としたもの

町村所在地の知的障害者施設における地域加算是正に関する陳情書  
郡部所在地の特別養護老人ホームにおける地域加算是正に関する陳情書

### 議員提出議案（意見書の提出）

次の議案が原案どおり可決され、東京都の関係機関等に対し意見書が提出されました。

町村に所在する介護老人福祉施設及び知的障害者福祉施設における地域加算是正措置を求める意見書

### 請願の取り扱

不採択としたもの

# 一 般 質 問

## 森林整備や獣害対策、町民の健康管理等について質す！

21年9月議会では、11日の第2日に9名の議員が質問を行いました。(通告順)

竹内和男議員

森林整備加速化・林業再生事業の推進について

（答）森林整備加速化・林業再生事業の事業化にあたっては、まず都道府県単位での地域協議会の設置が必要となる。今後とも都と緊密な連携を図り、国の補助金や都の施策を活用し、健全な森林の育成と森林産業の振興を図っていく

竹内 平成21年5月に国において予算化された、森林整備加速化・林業再生事業について、当町としての対応は。森林資源を活かすことが町の活性化に繋がる。国・都の補助金を活用して、基盤整備（林道、作業道）等を進めることがよりよい町づくりへの一歩だと思いが、町の考えは。

町長 この事業は間伐及び路網の整備、伐採から搬出、利用

までの一貫した取り組みを、地域で一体的に進めることを目的としており、都道府県を単位として設置される地域協議会において、関係する事業者や地方公共団体との調整や、共同事業化が必要となる。今後、東京都を中心とした協議会の設置や、関係する団体等との調整を行ったうえで、事業化となる。また、多摩の森林再生事業等、すでに実施されている事業との調整も必要になると思われる。

本年度から本格的に始まった森林セラピー事業は、まさに森林という資源を有効活用して町を活性化する事業であり、事務局の人員配置や推進体制の整備を進め、積極的に事業推進を図っていく。今後とも都と緊密な連携を図り、国の補助金や都の各種事業の施策を活用して、森林整備や林業の振興に努め、健全な森林の育成と森林産業の振興を図っていく。

原島 在宅療養者へのきめ細かなサービスを。奥多摩病院における看護外来による取り組み、考え方は。

原島伸行議員

さらなる保健医療福祉サービスの充実を

（答）専門的な看護外来の設置は困難と考えている。入院時は随時、退院後は訪問看護により、支援、相談等に応じていく

町長 看護外来とは、その分野において専門的な知識、技術を持った看護師が、入院患者又はそのご家族からの相談、指導、ケア等を行う外来で、退院後も継続して通院中の患者本人、及びご家族の日常生活の支援、介護相談、アドバイス等を行うことと位置づけられている。これを担当する看護師には高い専門性が求められる、全国で0・5%の看護師が、日本看護協会から

の看護師が、日本看護協会から

認定されているに留まっている。都内公立病院でも2つの病院において、2つの分野の看護外来を開設するに留まり、専門性、病院の規模等勘案すると、専門的な看護外来の設置は困難と考えている。

しかし、奥多摩病院では、入院中の相談は医師、看護師とも随時受け付けており、退院後は訪問看護をご利用いただくことで、引き続き患者本人ならびにご家族への支援、相談等にきめ細かく応じていく。

前田悦男議員

テレビの地上デジタル放送への対応について

（答）今後も国や東京都の動向に注視しながら、情報の収集や各テレビ組合への情報提供等を積極的に行い、各地域におけるデジタル化への移行が、円滑に行われるよう協力していく

前田 町内のテレビ組合との調整と対策の現時点での状況は、テレビ組合等の受信施設から各家庭への配信方法はどのようなものか。約1年半前に、総務省がデジタル変換チューナーを5千円程度で普及させる方針であったが、その後の経過は、高齢者が不安を持たないよう、国、都、町が協力しての広報活動が必要と思うが、今後の対応は。

町長 NHK共聴施設の8施設においては、電波状況の調査はすでに終了しているが、民放を受信するための改修工事が組合負担となるため、組合との合意が済んだところから、順次改修を実施していく方針である、とのことである。現時点では、白丸テレビ組合が改修工事を実施し、デジタル化されている。自主共聴施設の8施設においては、組合が独自に改修工事を行う必要があり、その前提として、平成20年度に現施設設置地点での電波状況の調査を、組合の

希望によりNHKが実施しており、小丹波テレビ組合の施設について調査したところ、受信が可能であり、今年度に施設の全面改修を実施する予定と聞いている。

地上デジタル放送への完全移行まで2年を切り、今後国の政策や事業者の動向に注意し、新しい情報を積極的に収集し、スムーズに移行できるよう、各共聴組合には引き続きお知らせしていきたい。

従来どおり共聴アンテナからの有線ケーブルでの配線となるが、平成22年秋に開局予定の氷川中継局が設置されると、氷川地区の大半の住宅は個別アンテナでの受信が可能となる模様である。今後、中継局の開局による電波状況を把握したうえで、各テレビ組合において受信方法を判断するようになると考えている。

現在の市場価格は、普及品で9千800円から1万9千800円程度であり、今後これを5千円にするためには、生産販売するメ

ーカのさらなる努力が待たれるところである。

総務省では、パンフレット等を作成し町民への普及に努めるとともに、町内地域における住民説明会を開催する予定とのことである。町としても、町民皆様が混乱しないよう、総務省の普及・広報活動に全面的に協力するとともに、共同受信施設のデジタル化への改修が、円滑に行われるよう協力していく。

島崎利雄議員

町政の活性化めざして

（答）ご質問にある事業を今後も積極的に推進し、地域の活性化を図っていくとともに、各種団体の育成と支援に努め、職員の高質の向上を図り、住民と協働する町づくりを一層推進する

島崎 森林再生、花粉症対策、森林セラピー事業、指定管理者に指定された施設等の状況と問

要点を明らかにして対策を。

各種団体等を把握し、状況、問題点を明らかにし対策、改善を。職員の意識改革、住民参加の共働の強化を。

町長 森林再生事業については、開始から昨年度までに、町内の民有人工林の26・6%を実施した。所有者の世代交代等の問題もあるが、東京都と連携して事業の推進に努めていく。花粉症発生源対策事業では、町が行う枝打ち事業について、花粉発生の抑制や雇用の確保のため、事業の一層の推進に努めていく。森林セラピー事業は、本年春にグラントオープンしたところであるが、非常に好調かつ好評な状況であり、滞在時間の延長も図られ、今後も当町の特色を活かした様々なメニューにより、地域振興を図っていく。指定管理を行っている施設は、18の観光施設と3つの福祉施設であるが、使用料の減免等、最大限の支援を行っているところであり、今後も指定管理者の運営状況の

把握に努め、効果的、効率的に施設運営が行われることで、住民サービスの向上に務めていく。町が補助金を交付している団体については、事業内容や収支の状況を把握しているが、各団体の確保等に苦慮している状況にある。今後も財政的支援を含め、積極的に育成と支援に努めていく考えである。

年間を通じての派遣研修により、職員の人材育成に努めているが、身近なまちづくり地区担当制度では、地域での情報交換等を通じ、住民と職員との信頼関係や協働の意義が理解され、併せて行政への理解、職員研修、意識改革等へもつながるものと考えている。また、住民参加については、現在まちづくりや行政運営に対し、多様な住民の方に参画をお願いしているが、今後も多くの住民皆様に参画をいただくことで、住民と協働する町づくりを一層推進するとともに、透明性の高い行政運営を行っていく。

鳩ノ巣駅北口の開設を

.....  
(答)財源手当を含めた整備の手法が難しく、困難な状況となっている。今後は、バリアフリーの観点から、北口通路の整備に向け要望活動を続けていく

島崎 JRとの交渉の結果はどう進行しているのか。今後の対応など検討しているのか。

町長 北口の開設については、JR八王子支社より、町が直接整備し、以後の管理も町で行うのであれば可能である、との回答をすでに得ているが、財源手当を含めた整備の手法が難しく、困難な状況となっている。このため、平成19年度からはバリアフリーの観点から、高齢者や車椅子利用者が容易に立川行きホームに出入りできるよう、出入り口の整備を行っていたかどうか、JRに要望している状況である。今後は、JRの回答や東京都の指導等も踏まえ、引き続き北口通路の整備に向けて、要

望活動を続けていきたい。

酒井正利議員

奥多摩町次世代支援行動計画に係わるアンケート調査報告書について

.....  
(答)バスのダイヤの変更や路線延長について、バス事業者と協議し、改善に向け検討している。バス待ちの時間等には、福祉会館の「ふれあいの間」を利用されるよう周知したい

酒井 報告書には、バスの本数を増やしてほしい、ダイヤを変更してほしい、との意見が多く見受けられるが、バスの本数を増やすことはできないか。

遠距離通学の子どもの時間調整のため、図書館の開館時間延長と、休館日の月曜日を開館日にできないか。

町長 現在、当町を走るバス路線は全体で12路線あり、その

すべての路線が赤字となつてい  
る。特に町内を運行する9路線  
については、国・都の補助対象  
外であることから、町独自で赤  
字を補填し、運行の確保を図つ  
ているところである。このよう  
な厳しい状況にあつても、バス  
利用者の利便性を確保すること  
に重点を置き、バス事業者と定  
期的に協議を行い、PTAや地  
域からの要望についても、可能  
な範囲で改善を行つてきている  
状況である。ご質問のダイヤの  
変更や路線延長についても、バ  
ス事業者と協議し、改善に向け  
検討していく。

図書館の開館時間は午後5時  
までとなつており、月曜日が休  
館日となつているが、開館時間  
の延長、休館日の開館について  
は、利用状況を勘案し、利用者  
のご意見を伺いながら検討して  
いく。また、福祉会館1階の「ふ  
れあいの間」が一般開放されて  
おり、当直者がいる時間は利用  
可能となつている。今後学校を  
通じて、児童、生徒及び保護者  
に対し、バス待ちの時間等には

福祉会館のふれあいの間を利用  
されるよう、周知したいと考え  
ている。

鈴木賢一議員

セラピーロードについて

.....

(答)専属の職員を配置した「森  
林セラピー推進準備室」等を早  
急に設置し、運営や組織のあり  
かたの検討を進め、迅速に推進  
体制を整備したい。セラピーア  
シスターにはスタッフの役割を  
担っていただく

鈴木 森林セラピー事業が盛況  
のようであるが、運営や組織の  
確立方法、セラピーアシスター  
の役割等、町長の考えを問う。

町長 森林セラピー事業は、本  
年4月のグランドオープンを経  
て、本格的に事業を開始したと  
ころであるが、非常に多くの方  
にお越しいただきツアーにご参  
加いただいております。一部には需

要に対する受入体制が追いつか  
ないほどとなつている。

事業の運営、組織のありかた

については、多くの希望者の二  
ーズに因應するため、森林セラピ  
ー専用の組織を立ち上げること  
が必要となる。そのため、専属  
の職員を配置した「森林セラピ  
ー推進準備室」等を早急に設置  
し、運営や組織のありかたの検  
討を進め、迅速に推進体制を整  
備したいと考えている。奥多摩  
町認定森林セラピーアシスター  
の役割については、主な業務と  
して、セラピーロードで行うガ  
イドウォークの案内や説明とな  
るが、多くの方のニーズに因應  
するため、スタッフの役割も担つ  
ていただきたいと考えている。

このため、スタッフの役割や心  
得、具体的な業務内容や健康チ  
ェックの方法等について、すで  
に研修会を実施している。今後  
は、アシスターもツアー当日ス  
タッフとして参加することとな  
る。今年度の結果を見てからに  
なるが、来年度はさらに大きな  
事業になることが予想され、体

制を整え、より多くの方にご参  
加いただき、地域を振興させる  
べく努力していく。

清水典子議員

小河内ダム建設以前の湖底に沈  
んだふるさとをしのび、後世に  
のこる湖底のふるさと館建設を  
.....

(答)「湖底のふるさと館」の建  
設については、水と緑のふれあ  
い館が、本来その目的を果たす  
べき役割を担っていると考えら  
れ、今後「湖底のふるさと」に  
係わる企画・展示等の検討を行  
つていきたいと考えている

清水 小河内ダムが水と緑の東  
京のオアシスとして現在あるの  
は、ふるさとが湖底に沈んでし  
まった方がたの苦難の道のりが  
あったからである。また、当町  
はすばらしい環境を誇れる町で  
もあり、レイクサイド奥多摩の  
活用にも鑑み、湖底のふるさと  
館の建設を。

町長 東京近代化水道100周年と、小河内ダム竣工40周年の記念事業として、水と緑のふれあい館が、平成10年11月27日に建設された。ここには湖底に沈んだ小河内集落の民俗や、ダム建設の当時の写真等の展示、また、水源林、小河内ダムの資料や水の循環、森林の役割等の解説を始めとする自然環境に関する展示を行っている。このようなことから、「湖底のふるさと館」の建設については、多くの観光客でにぎわう水と緑のふれあい館が、本来その目的を果たすべき役割を担っていると考えられ、当施設において今後、「湖底のふるさと」に係わる企画・展示等の検討を行っていききたいと考えている。

師岡伸公議員

鳥獣害対策の進捗状況と今後について

（答）町内に生息する野生動物

と共存していくことは重要と考えているが、そのためにも野生動物の適正な管理を行っていく必要があるので、引き続き都に対して管理費用の確保と事業の継続を要請していく

師岡 シカ食害の被害状況について イ、食害による山林の裸地化は、どのようなケースで発生したのか。ロ、裸地化対策の成果、シカ進入防止柵の効果は。ハ、ニホンカモシカの個体数と保護の現状、当町としては今後どのように考えるか。

鳥獣害が及ぼす農作物の被害状況の推移と現状、今後の対策は。シカ防止柵はイノシシ等の侵入に効果が見られるか。

地元猟友会と東京都猟友会との連携と、町、東京都の補助も含めた支援体制の状況は。

町長 イ、被害地は皆伐（かしばつ）し木材搬出した場所である。従って、木を選んでの伐採、搬出、間伐等を行った場所が裸地化につながったとは考え

にくいと思っている。また、東京都の場合には、25年間にわたリシカを禁猟にしていた結果、個体数が増加し、食害による裸地化が発生したものと考えられる。

ロ、シカの侵入防止のための周囲柵は非常に効果があり、植えた苗木も順調に成長している。苗木の多くはミズナラやトチ等、実を結ぶものであり、近い将来、シカの頭数が適正となった場合、動物たちへの好影響も期待できると考えている。

ハ、都からカモシカの生息状況調査を受託している自然教育研究センターによると、当町の生息数は以前は300頭前後であったが、ニホンジカが増えた等の影響から、推測で100頭前後は減少しているとのことである。しかし、山麓域に分布が拡大しており、状況によっては特定鳥獣保護管理計画の策定を都に依頼し、カモシカによる農作物への被害防止に努めていきたい。

平成8年度に野生動物による農作物被害が多発したため、全

町の被害状況を調査したところ、被害面積1・8ヘクタール、被害額4千662万円と甚大であったため、都の関係部局へ被害の実態を訴えた。その結果、平成9年度から都の補助を受けての獣害対策が本格的に実施され、翌年度には被害面積2・37ヘクタール、被害額849万円と激減した。その後、平成20年度には被害面積0・68ヘクタール、被害額397万円へと減少し、効果を上げている。昨年度の被害はサル、イノシシによるものが多く、ワサビはシカによる被害が大きいという報告を受けているが、被害額の7割をワサビが占める状況となっている。

また、シカ防止柵の畑での使用については、鼻の力が強く、防止柵の下部を持ち上げて侵入することができるイノシシには向いていないため、サルやイノシシ、ハクビシン等に変な効果がある簡易電気柵を、農業委員会と協力して斡旋し、購入費の半額を補助している。

シカの捕獲が始まった当初は、

東京都猟友会が捕獲事業を直接受託していたが、地理や地形の不案内から思ったほど効果が上らず、地元の奥多摩支部が事業を受託ことになった経緯がある。よって、今後東京都猟友会が捕獲を行うことはないと思われるが、隣接する青梅支部との情報共有や、埼玉猟友会、丹波山猟友会との共同捕獲等が行われるようになったので、今後とも連携を図っていただきたい。捕獲隊員については現在25名おり、その半数の13名が町外在住者となっているが、銃の所有規制等の問題があり、後継者育成について、猟友会と相談しながら進めていきたいと考えている。現在実施している有害鳥獣対策事業としては、シカの捕獲やシカ柵見回り、サル追い払い、発信機装着、防護ネットの斡旋等、すべて都から補助をいただいで実施している。そのうちシカの捕獲とサルの追い払いを猟友会に委託し、委託費は総額1千600万円を超える額となっている。

町内に生息する野生動物と共

存していくことは重要と考えているが、そのためにも野生動物の適正な管理を行っていく必要がある。引き続き都に対して管理費用の確保と事業の継続を要請していく。

増田ひさ子議員

トンネル内およびその周辺の事故防止対策の強化を

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答) 事故を教訓とし、西多摩建設事務所では速やかな交通安全対策を図っている。当町において、警察署、交通安全協会と協働し、住民の交通安全への普及啓蒙に務めていく

増田 氷川トンネル内で発生した交通事故に対して、その後安全対策を実行しているか。また、町内のトンネル出入口のカーブしている地点には、センターライン上にポールを設置を強力に要望する。

町長 ご質問の事故は、平成16年8月25日に起きた車両同士の正面衝突と、本年5月18日に起きた車両と人との衝突事故のことと思われるが、前者は誤って右車線に侵入したことが原因であり、青梅警察署では氷川側

入口中央にポールを設置し、右車線に入らないよう誘導を行っている。後者の事故は、トンネル内作業の交通誘導員が死亡した事故で、道路を管理している西多摩建設事務所では、1週間後の5月21日には事故防止対策会議を開き、6月5日には青梅警察署指導のもと、奥多摩管内の全建設事業者を集め、交通誘導等の講習会を実施している。さらに6月26日には、西多摩建設事務所管内の全建設事業者と交通誘導の実地研修を行い、二度とこのような悲惨な交通事故を繰り返さないよう対応を図っている。センターポールの設置については、西多摩建設事務所では警察の要請に基づき、設置可能な箇所についてはすでに設置済みであり、スリップ防止舗

装や段差舗装等と併用し、交通安全対策を進めている。今後も法定速度を遵守し事故を起こさないよう、青梅警察署、青梅交通安全協会と協働し、住民の交通安全への普及啓蒙に努めていく。

乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券と検診手帳の活用で検診率の向上を

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答) より積極的な受診勧奨、検診の重要性のPR等を実施し、がん検診の受診機会の拡大に努めて行く

増田 乳がん・子宮がんは年々増加しており、検診率の向上が望まれる。国の補正予算に乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券と検診手帳の発行が盛り込まれたが、町も受信率の向上を図る対策に取り組むべきである。

町長 国は、「がん対策推進基本計画」により、がんの早期発見

## 議 会 日 誌

の重要性の観点から、がん検診の受信率を5年以内に50%にするという数値を示すとともに、特定の年齢に達した女性に対して、乳がん及び子宮頸がんに関する検診手帳、検診無料クーポン券を送付し、女性特有のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及、啓発を図ること等を主な内容とした、「女性特有のがん検診推進事業」を予算措置した。町においてもこの数値目標を達成するため、より積極的な受診勧奨、検診の重要性のPR等を実施し、がん検診の受診機会の拡大に努めて行く。

町議会だよりの一般質問欄では、紙面の制約から、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。

出来上がりは後日になります  
が、全部の質疑内容が掲載された  
会議録を図書館に置きますので、  
ご覧ください。

8 月		9 月		10 月	
3日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会（以下「三水協」）第1委員会	2日	議会運営委員会	16日	決算特別委員会（第2日）
4日	秋川衛生組合定例議会	2日	青梅警察署山岳救助隊創立五十周年記念式典	18日	第3回定例会（第4日）
5日	東京都町村長・議長合同会議	4日	三か町村議会結婚問題検討部会	19日	西多摩地区消防大会
7日	西多摩地域広域行政圏協議会審議会	5日	奥多摩町少年野球教室	20日	清水保男氏叙勲祝賀会
24日	三水協陳情行動	8日	第3回定例会（第1日）	20日	青梅・奥多摩交通安全のつどい
25日	大多摩観光連盟総会	9日	連合審査会・各常任委員会	29日	三か町村議会広域行政検討部会
26日	国民健康保険運営協議会	11日	第3回定例会（第2日）	1日	高知県四万十町議会視察来町
28日	三か町村連絡協議会	15日	第3回定例会（第3日）	7日	戦没者合同慰霊祭
			決算特別委員会（第1日）	8日	青梅防犯教会防犯のつどい
				16日	東京都町村議会議長会会計監査
				19日	議会だより編集委員会
				20日	経済厚生常任委員会（町内視察）
				20日	秋川衛生組合定例議会
				23日	和歌山県田辺市議会視察来町
				27日	管外行政視察（茨城県大子町）
				27日	奥多摩町官公庁等連絡会議
				27日	奥多摩ふれあいまつり
				31日	奥多摩ふれあいまつり

## 編集後記

今年梅雨明け宣言後も相変わらず梅雨空を思わせる日が続き、夏休みが慌しく過ぎたという印象です。その後、西日本では局地的な豪雨や台風9号が猛威をふるい、静岡県駿河湾では震度6弱の地震が起こっています。災害はいつ発生するかわかりません。家族や地域の皆さんと話し合い、いざというときに備えておきましょう。

第45回総選挙では、「政権交代」という国民による歴史的な審判が下されました。民主党は308議席を確保し、自民党は119議席と結党以来初めて第2党に転落、衆院選で野党第1党が単独過半数を得ての政権交代は、現憲法下では初、正しく歴史的転換期を迎えたといえるべきでしょう。9月中旬には民主党を中心とした新政権が誕生しました。今後はマニフェストを注視しながら、国政の動きを見つめていきたいと思えます。

（竹内 和男）

清水 典子 島崎 利雄

前田 悦男 原島 伸行